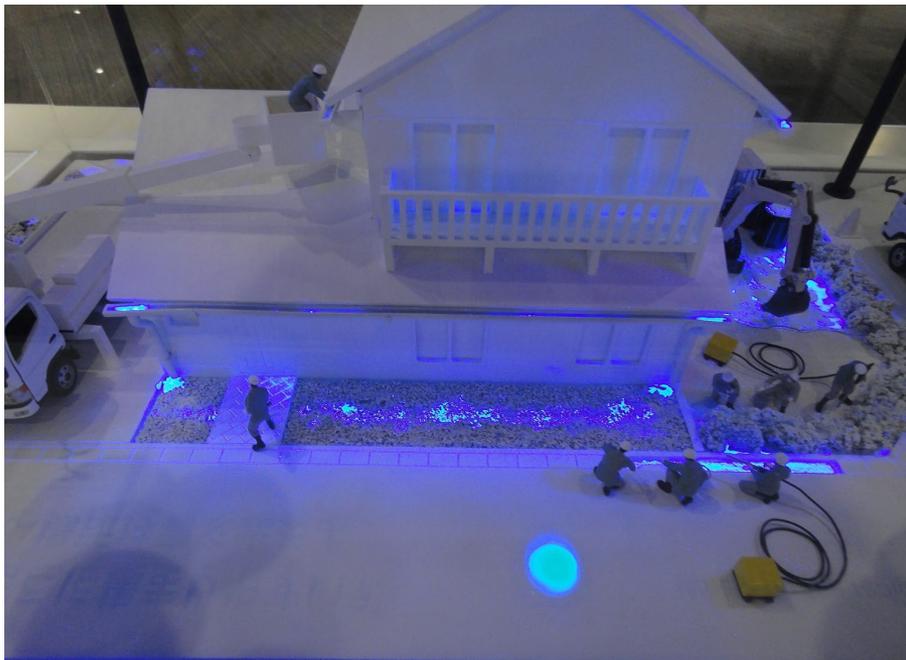


除染の効果はある？

除染が行われた地域の今

岡部玲奈



出典：コミュニティ福島 パネル

1. 動機・理由

- 除染についての報道を幼い時からよく見ていたが、現在の状況については詳しく知らなかったので興味があった。
- 福島県は「原発事故」というイメージを持っている方が多いのではないかと思い福島県の現状を発信したかった。

2. 基礎知識

・ 除染とは...

人工的に放射性物質そのものを取り除く作業のこと。

放射性物質は時間とともに自然と減少していく（特に半分になるまでの期間を『**半減期**』という）が、その時間は放射性物質の種類によって何十年とかかるものがある。

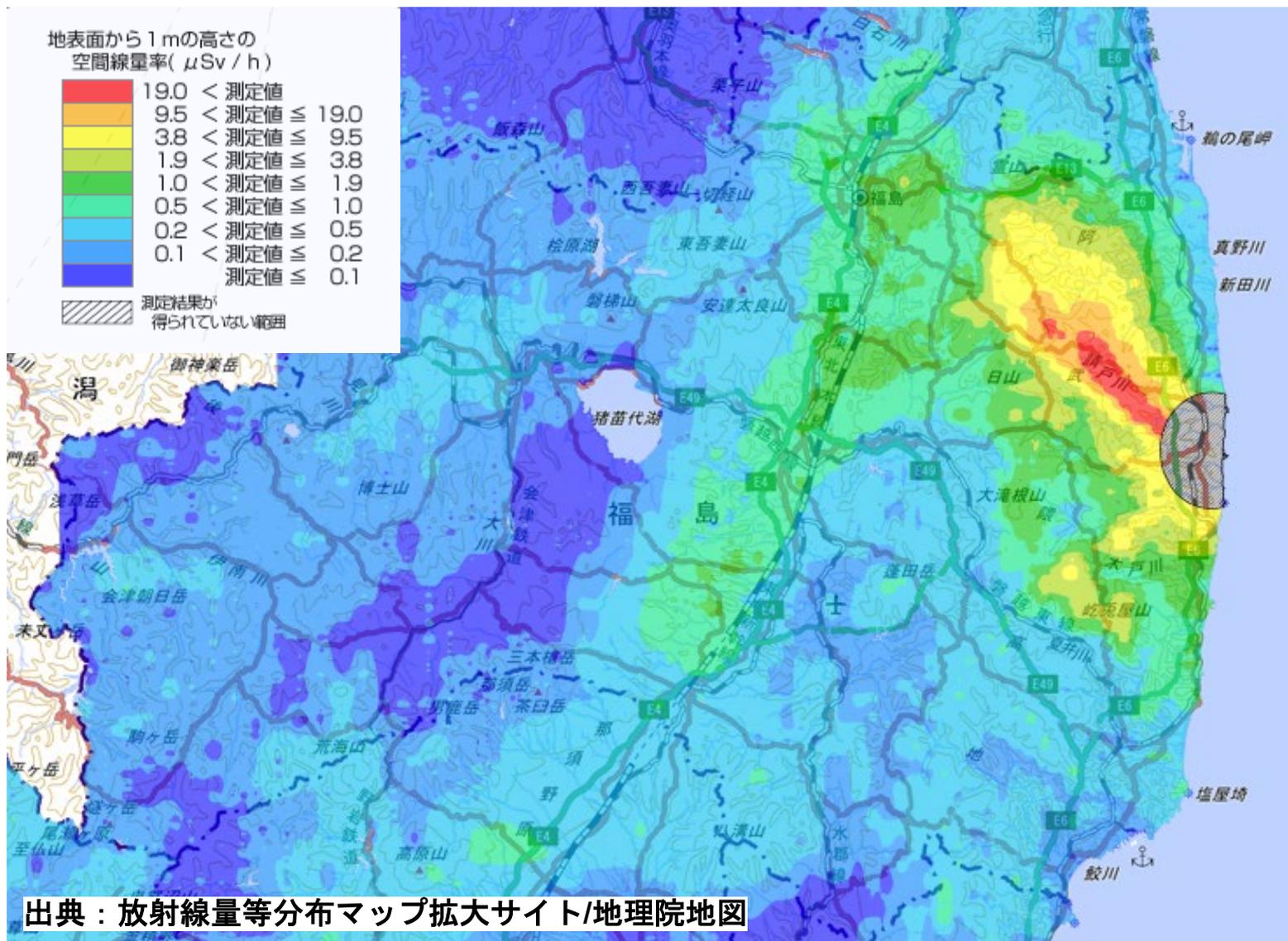
・ 放射線量を減らす方法

『**取り除く**』 ⇒ 表土の取り除き、落ち葉の除去など

『**さえぎる**』 ⇒ 放射線源を土やコンクリートで囲む、
表土と下層の土の入れ替えなど

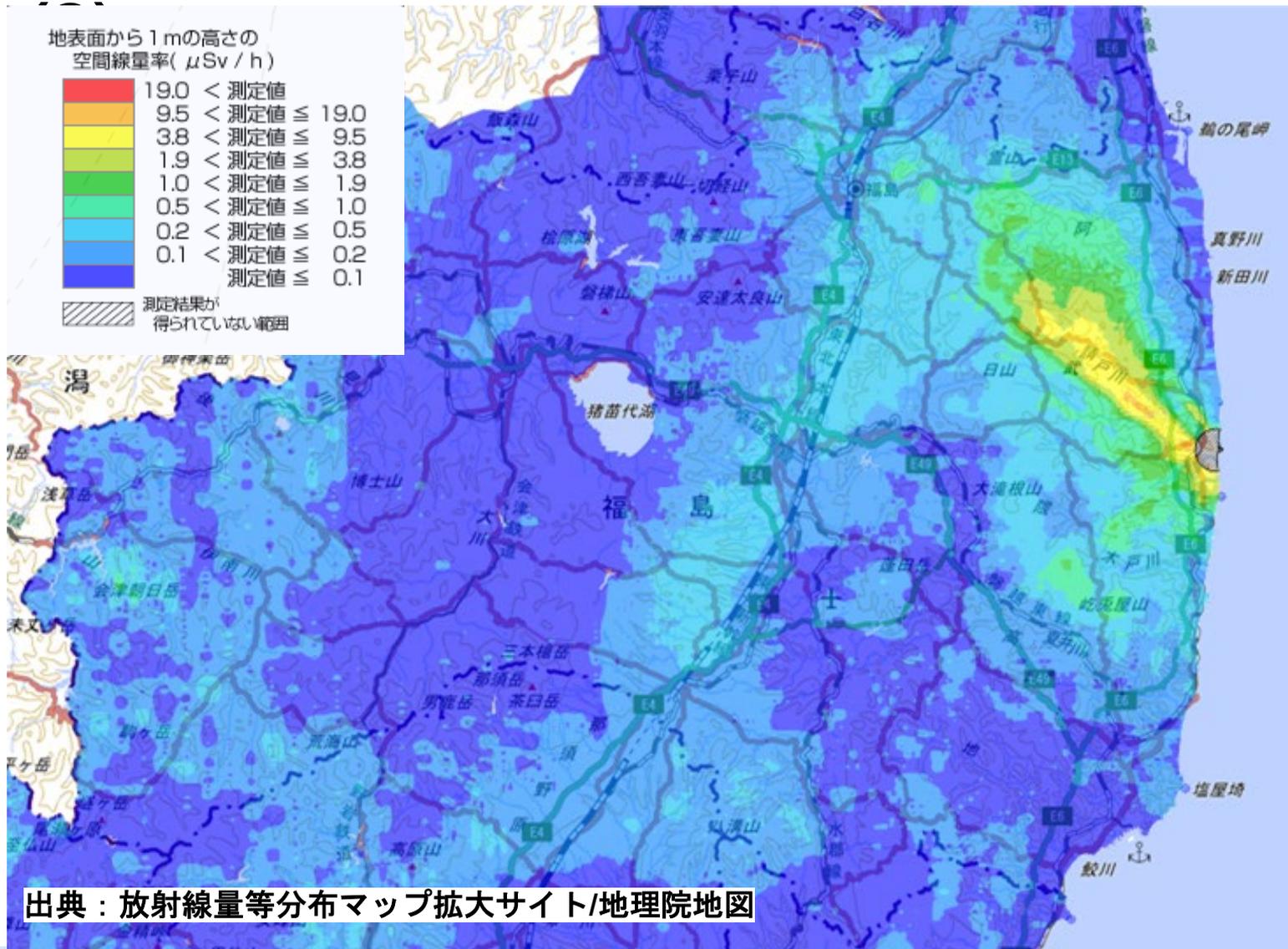
『**遠ざける**』 ⇒ 立ち入り禁止など

3. 福島県の放射線量の変化



『平成23年9月12日』 空間線量率

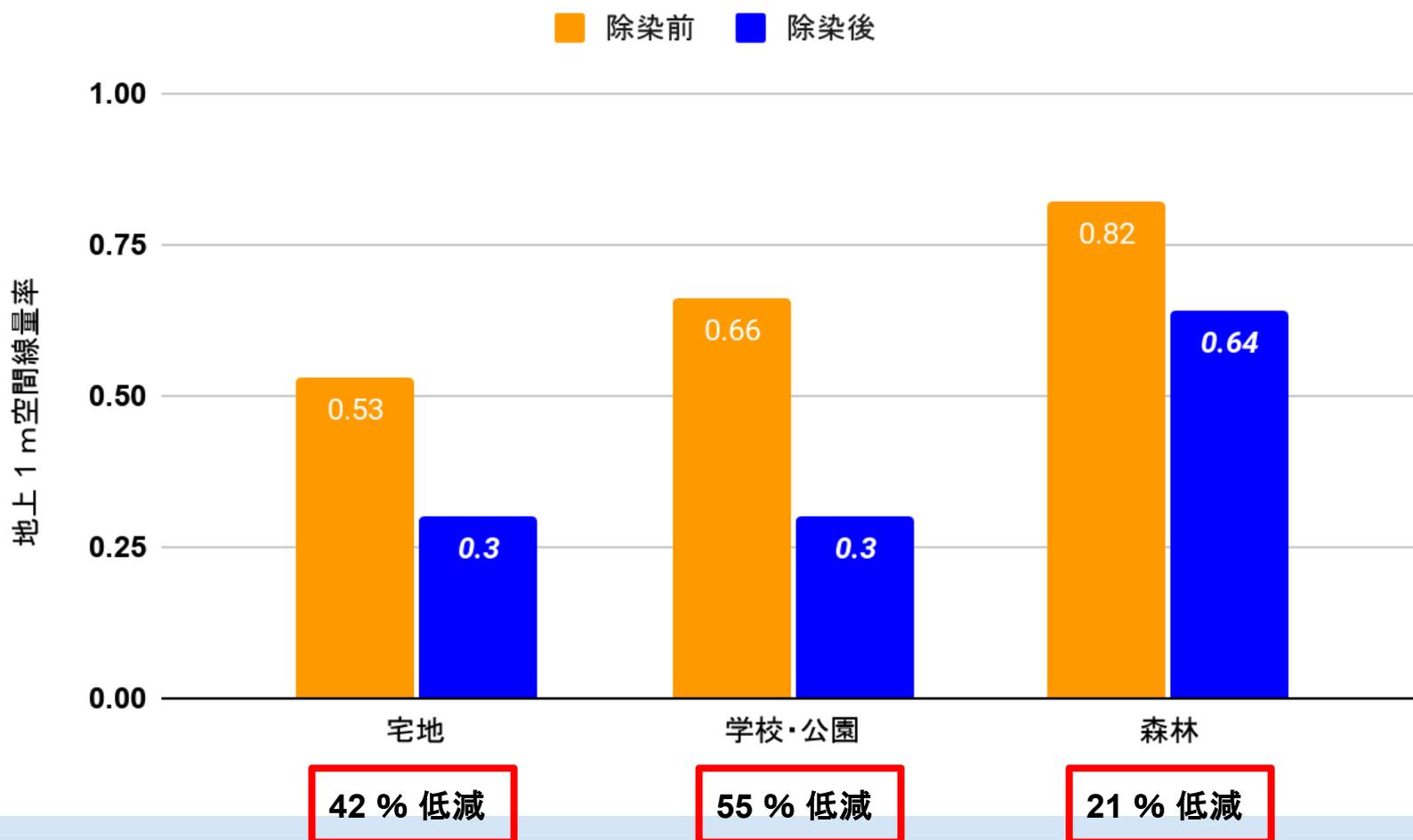
3. 福島県の放射線量の変化



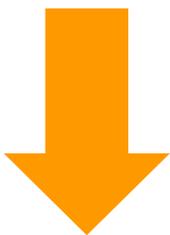
『令和元年11月2日』 空間線量率

4. 除染の効果

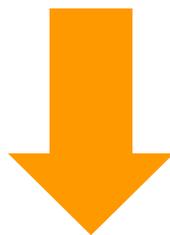
地表面から 1 m の高さの空間線量率 土地区分毎の変化



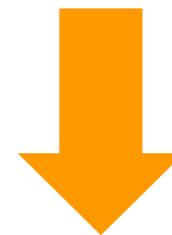
5. 身近な場所の計測



木の下



止水栓



外の水道

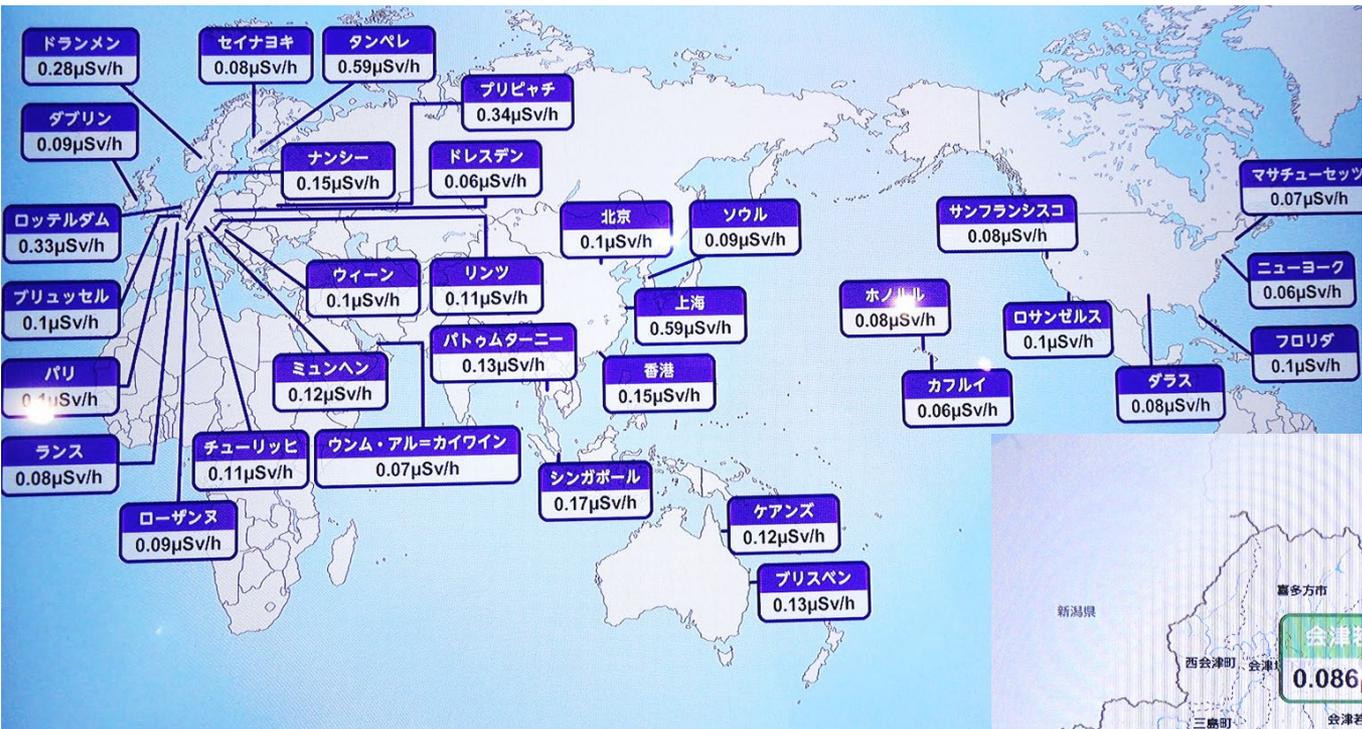
6. 計測結果

『高さによる放射線量の違い』

測定場所 高さ	木の下	止水栓	外の水道
30 cm	0.136*	0.086	0.074
100 cm	0.109	0.073	0.063

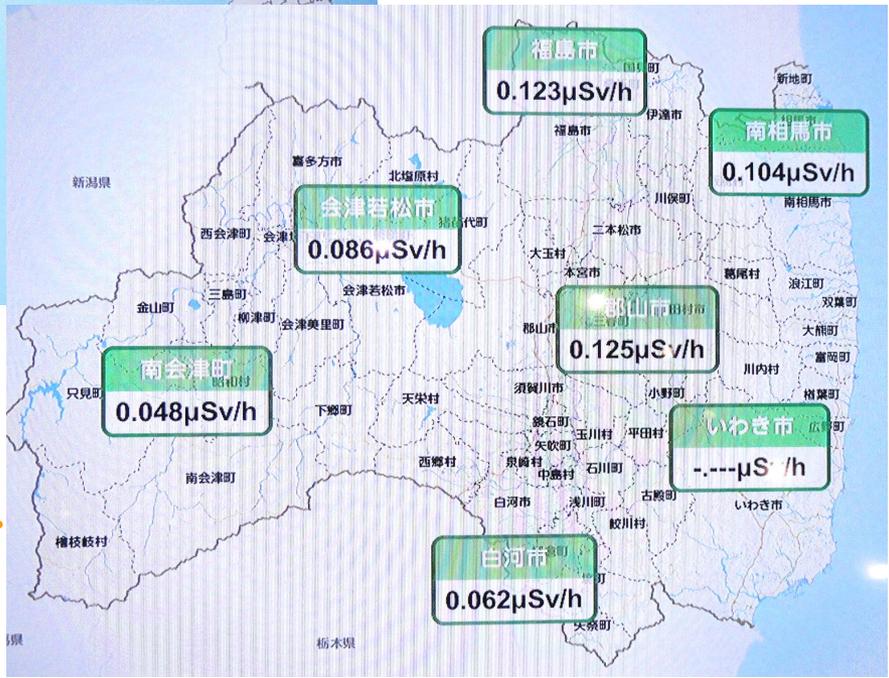
※表示値はγ線の「線量当量率」であり、
単位は $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)

7. 世界と福島県の放射線量の比較



単位：μSv/h

福島県の主な市町村の放射線量
2021年1月30日午前8時



8. まとめ

福島県の放射線量は除染作業や時間の経過などによって、震災当時に比べ低くなってきています。

また、福島県では次のような機器が設置されています。

『モニタリングポスト』⇒ 空間放射線量を測定する

『リアルタイム線量計』⇒ 放射線量率を測定する

県内の公共施設や学校などに約3000台以上が設置されているので、実際に確認しながら生活をしています。

除染した際に出た土の処理などの課題が残っていますが
福島県は一步ずつ着実に復興しています！！

ご清聴ありがとうございました！！